

令和7年度 第1回 定例会

会 議 録

えびの市教育委員会

えびの市教育委員会
令和7年度 第1回 定例会 会議録

1. 日 時 令和7年4月3日 木曜日 午前9時5分から午前10時5分まで
2. 場 所 市役所本庁 教育委員会会議室
3. 出席委員 永山 新一 教育長 貴嶋 俊介 委員（教育長職務代理者）
御手洗 英次 委員 小倉 真里子 委員 森高 尚子 委員
4. 欠席委員 なし
5. 会議録署名委員 貴嶋 俊介 委員
6. 事務局 学校教育課 課長 谷元 靖彦
学校教育課 課長補佐兼総務係長 後藤 富美恵
学校教育課 指導主事 山之口 忍
社会教育課 課長 西峯 由美
社会教育課 課長補佐兼市民体育係長 黒木 稔
7. 次 第
 1. 会議録署名委員の決定について
 2. 会議録の承認について
 - (1) えびの市教育委員会令和6年度第12回定例会会議録
 3. 教育長及び教育委員からの報告・提案事項について
 4. 議事
 - (1) 報告第1号 えびの市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
 5. 教育委員会事務局からの報告・事務連絡

開会 午前9時5分

○教育長 ただ今から、えびの市教育委員会 令和7年度第1回定例会を始めます。会議録署名委員の承認について、えびの市教育委員会会議規則第17条第1項の規定により、本日の会議の会議録署名委員を、貴嶋俊介委員にお願いしたいが、よろしいか。

○出席委員 はい。

○教育長 続いて、令和6年度第12回定例会の会議録の承認について概要の朗読をお願いします。

○学校教育課長 （えびの市教育委員会 令和6年度第12回定例会会議録の概要朗読）

○教育長 この会議録について何かご質問等はないですか。会議録については、承認ということでよろしいですか。

○教育委員 はい。

○教育長 会議録は承認されました。続いて教育長・教育委員からの報告提案事項として何かあればお願いします。

○小倉委員 コンサートの感想と報告です。3月22日土曜日、えびの市文化センターホールで1時半からえびの市内の中学校高校の吹奏楽部による合同スプリングコンサートが開催されました。3部構成で内容は素晴らしかったのですが、観客が少なかったのがとても残念でした。毎年素晴らしいコンサートが開かれているにもかかわらず、聞く人が少ないと演奏者にとっても張り合いがないのではないかと感じました。今後は学校側でも工夫して宣伝を強化した方が良いと思いました。

もう一つは、3月25日火曜日の加久藤小学校の卒業式に来賓として参加しました。6年1組は23名、6年2組は23名でしたがそのうち2名が欠席でした。服装については、昨年は袴を着用する生徒が多かったのですが、今年は女の子が2名で男の子1名が袴を着用していました。式の間は全員静かで厳粛な雰囲気の中、卒業生や在校生による呼びかけは感動的で、心に残る素晴らしい卒業式でした。

○教育長 ありがとうございます。スプリングコンサートについては、昨年度も少なかったが、今年も少なかったんですね。

○小倉委員 私も前日に聞いたものですから。

○教育長 周知ももう少し丁寧にできれば良かったのかもしれません。

○御手洗委員 ホームページには出ていますね。

○教育長 広報の仕方としてはどうなのでしょう。確かに先生が言われるように、小中学校の合同と高校生も含めてやっており、中身もいいし、市民の方にももっと伝えていく必要があるかもしれません。

○御手洗委員 年1回ですか。サマーコンサート、クリスマスコンサートもですか。

○森高委員 以前から3月の終わりにしていました。

○学校教育課長 合同であれば、保護者だけでも一定程度はいらっしゃるのではないのでしょうか。

○教育長 部員数も減ってきていますからね。

○貴嶋委員 児童生徒も保護者も少なくなっているかもしれないが、開催時期のこともあると思います。3月は多くのところで総会なども開催されていますので、重なるところもあるのではないのでしょうか。

○教育長 部活動としては、卒業式が終わって入試の結果が出て、その後のこの時期が一番いいんでしょう。以前は、飯野中は飯野中で、それとも一緒にやっていたのですか。

○森高委員 加久藤であったり飯野であったり、みんなで一緒に学校でしていました。うちの子どものときには飯野中でしました。卒業した後に参加させていただいたのは加久藤中学校でした。

○教育長 せっかく文化センターを使うようになったのでは広いところでいいんですけど。開催時期はずっとこの時期だったのでしょうか。

○森高委員 飯野中では、3年生はもう出ません。2年生が最後でした。

○御手洗委員 主催はどこでしょうか。学校の吹奏楽部だと思いますが、時期とかはそこで決めてもらうことで、教育委員会でごしなさいとは言えないですね。

○森高委員 市民の方にLINEで通知は難しいのですか。LINEをする人は多いし、吹奏楽に関心のある方が知っていただくことがあるかもしれない。

○学校教育課長 LINEは、あまり自分に関係のない情報が頻繁に来るとブロックしてしまうことがあって、投稿頻度や内容は調整しているようです。Facebookなどでは必要かと思います。毎年あるということであれば、時期等の検討も含めていただいて、その決定内容に応じて学校教育課の方でもアナウンスを強めたいと思います。

○教育長 よろしく申し上げます。他にございませんか。

○御手洗委員 私からは報告が1点、お尋ねが2点あります。1点目は3月25日の真幸小学校の卒業式は卒業生19名全員出席で、厳かな中に締まった卒業式でした。後半の別れの言葉の場面では、卒業生が全員ステージの前に並んで、在校生と掛け合いをしながら歌を歌うものでしたが、会場に響き渡っていい感じだったのですが、卒業生の1人が突然貧血で倒れて、顔から倒れて心配しました。幸い、少し鼻を打ったぐらいで意識が戻ったようで大事には至らなかったのですが、そのときの先生方の対応を見ていると、すごく機敏で、役割を手分けして対応されていて、危機管理ができていることに感心したところでした。

お尋ねの一つはキャリア教育支援センターのことで、今後商工会の中に入って7月から稼働ということですが、このキャリア教育支援センターについては、通年で活動できる場所が確保されているのでしょうか。先日、センター長の方からご相談がありまして、商工会との調整はどうなっていますか。

○学校教育課長 私の方も少し不安な状況をお聞きましたので、そこを今後詰めていかないといけないと思っています。

○御手洗委員 私が聞いたところでは、1月から3月の確定申告の時期は別のところで事務をしないといけないということや、電話がついていないなどです。そうになっていくと支援センターが上手く活動できるのかという心配をしています。あそこは、教育財産の土地に商工会館が入っている状況ですよね。

○教育長 そういう意味合いを持たせています。話し合いをしたときには、確実に相談業務ができるよう、支援センターの部屋を確保したんですが、いざ今後稼働するとなったときに、先ほどの申告時期の問題などの課題が出てきたのだらうと思います。そこはもう1回協議をして、当初契約というか約束したときの、部屋を一つ借りる、電話の回線もつける、デスクも準備しますということでした。もう1回どこかのタイミングで、事務局長などに話をした方がいいと思っています。

○御手洗委員 キャリア教育支援センターは、小中学生のキャリア教育だけでなく、商工業の事業継承という意味からも大事なものですので、商工業者の方にももう少し理解いただかないと、スタートから厳しいなと思ったところでした。

○教育長 5月末から6月ぐらいに移る予定で、それまでにはしっかり準備をしたいと思っています。

○学校教育課長 私も4月に来てみて、そこまで詰まっていないと感じました。

○教育長 商工会としては、どちらかと言うと、この点では積極的な感じではないです。キャリア教育支援センターを商工会館内に置くことについては、市長も副市長もそこを抜きにしたらいけないということで、きちっと話をしてもらっており、強く言っていきたいところです。ただ申告時期でどうしてもという状況があるようなので、そこはまた方法を考えていきたいと思っています。センター長の不安感も募っている状況ですので、そこは私達の方でしっかりフォローしたいと思っています。

○御手洗委員 もう一点は大河平の黒木家住宅。これは国の登録文化財になっていますが、今すぐ公開できる状態なんですか。

○教育長 それについてはまた後で皆さんにお話しますが、まず黒木家については国の登録有形文化財になっていますが、正直、見に行かれても、家は崩れており今後心配な建物になっています。今は地区の方が草刈りなどで綺麗にしてくださっており感謝しています。その建物を市で何かするというのもこれまで議論してきましたが、個人の所有であり、そこに市の予算を使うことが国の文化財であってもできないことです。国の制度もそういうものがないです。親族という方とやり取りしましたが、文化財指定を解除してもらって、あとはもう自然にそのままという感じで、ぜひ残してほしいとの思いは薄らいでいる感じです。

例えば栗下に三徳院もありますが、これも個人の所有です。草刈り等を栗下地区の人たちがしてくださっていて、ご親族も遠方に住んでおられてという状態で、できれば市が受けて欲しいということですが、建物も劣化しており、維持管理に関して、もっと手厚く関与するということできません。

○貴嶋委員 国や県も指定するけれども、それに対して何か支援してくれるといいのですが。

○御手洗委員 所有者や住民の方の意思ということもあるでしょうが、今後は解除という方向もありますね。

○教育長 記念館に関しても、また協議をさせていただきます。ありがとうございます。

○貴嶋委員 次に、岡元小学校の卒業式に行かせていただきました。卒業生が4名、在校生が8名。小規模校なりにいい形で卒業式も実施されたという感じです。保護者の方のお礼の言葉を、4世帯それぞれ皆さんが言われて、こういうやり方もあるんだなと感じました。その中で、児童数がどんどん減ってくる、もう今度の入学生がいらないというような状況の中で、やはり学校規模の適正化にも取り組み始めているんですけれども、やはり、そのことを考えて、進めていくということが必要ではないかと感じました。

別件で、学校給食について、物価高で給食費を上げるというところも出てきているようですが、えびの市の場合は親の負担はないということですが、今後補正を組まなければならなくなってくるのかどうか気になったところです。

○教育長 まず岡元小学校の今後に関しましては、学校規模適正化委員会の中でも協議はしていく予定ですが、実際入学者ゼロがあと数年続きます。そうすると、あと3年4年したらもう2人しか在籍していない状況になります。今後は、岡元小ではなく真幸小にというお考えをお持ちの方もいます。現状ではゼロが続いて自然と在籍児童がいらないという懸念のため、学校側、PTA等とも話をした結果、今後、小規模特認校の申請をして、市内の各学校から小規模校を望む児童は岡元小への入学できるということなども考えていかないといけないです。令和7年度中にその方向性を示していくことが必要かと思います。

また、学校給食に関しては、今年度は小学校が293円に、中学校は343円にと、かなり上がりました。令和元年に私が就任したときに、小学校は213円、県内で一番安い給食費だったのですが、かなり物価高で上がっています。それを市の持ち出しで無償化をやってますので、年々膨らんでいく可能性はあります。

○学校教育課長補佐 物価高騰対応の国の交付金も、無償の場合は対象外ですので、今年度当初予算では給食費は増額を認めていただいています。

○教育長 森高委員からいかがでしょうか。

○森高委員 本日は2点ほどお伝えさせていただきます。1点目は3月25日の卒業式で、私は飯野小学校の卒業式に出席させていただきました。袴姿のお子さんが1名、女の子でいらっしゃいました。これまで他の小学校で、少し服装のこともお聞きしていましたが、袴でなくても、様々なスタイルのお子さんがいらっしゃって、私個人としては中学校では制服になるため、親御さんの負担にならないのであれば、それぞれの個性での服装がいいのではないかと感じました。校長先生のお話に合わせて、6年生の活動の様子がスクリーンの画面にスライドで映されるなど、心温まる卒業式だと感じたところでした。

教育委員会の祝辞を代読させていただきますが、祝辞について感じたことをお伝えします。最初に自宅で拝読させていただいたときに、「頑張る」「頑張る」という言葉がかなり使っていると感じました。その「頑張る」という言葉に少し違和感を感じたので、過去これまで頑張ってきたところの2か所ほどはそのまま残しましたが、これから頑張るとか頑張ったことがという感じのところは私なりに少し言葉と表現を変えて読ませていただこうと思って当日行きました。特に「皆さんがこれから頑張ることによって、今まで支えてくださった皆さんに対する感謝の気持ちになるんですよ」という感じの文章について、何か頑張ったからこうなるという、何か条件をつけてできるということが、何か違うのではないか思い、そこは「皆さんがこれから自分らしく生き生きと歩んでいかれることが皆さんへの感謝の気持ちになるんですよ」というふうに変えて読ませてもらおうと思って当日行きました。朝、来賓控え室での校長先生にご挨拶で、今日は1名欠席で1名は別室でライブで見ているということを知り、そのときに、祝辞の中に「皆さんが今日これまで頑張ったので、この場に立って卒業証書が受け取れる」という表現があったと思い、急いで、その表現「この場に立って」という部分を違う言葉にしようと思ったのですが、筆記用具を持参しておらず、自分の目で確認だけして壇上に上がりました。しかしやはり緊張しており、その部分を途中まで読んでしまい、もうそのまま続けて読んだのですが、やはり別室で見ているお子さんを傷つけてしまったのではないかと心苦しさがありました。

あまり過敏に受け取っていただきたくないのですが、「頑張ったね」「頑張る」という言葉は優しい言葉である反面プレッシャーにもなり得る言葉にも感じます。今のインクルーシブ教育とか不登校の問題を抱えた教育にとっては、頑張るとか頑張ったから認められるということ、そのことはもちろん大切なことではありますが、やはり使い方が難しいと感じています。祝辞などに関しては、様々な児童生徒の皆さんがいるということを少しご配慮いただけたらいいのではないかと感じました。

2点目は、先日えびのの福祉関係の方とお話する機会がありましたが、その際、支援するご家庭に小・中学生の子どもさんがいらっしゃる場合があります、そこで「学校には少し壁を感じる」という話をお聞きしました。私はえびの市の教育委員会はとても協力的なのではないかということでお話したんですが、直近のことではないかもしれませんが、連携ができていた学校とも校長先生や役職の方が替わったときに、また連携が取れなくなったというお話をお聞きしました。学校ではやはり個人情報や守秘義務については厳格に取り扱われているでしょうし、それは当然だと思いますが、生徒の個人的なことに、カウンセ

ラーや専門的な先生方が対応されるということはあると思いますが、ご家庭の福祉的な課題で学校生活に影響が出ているような場合などは必要で、適切な福祉的支援と繋がることで良い方向に向かうこともあると思います。

えびの市は今年度から重層的支援体制整備事業も本格実施になりますので、校長先生はじめ学校の先生方にも必要な機関と連携をとるということをご理解がいただけるといいのかなと思います。実際、教育委員会、学校教育課の皆さんなどが、福祉課やこども課など他の部署とも連携しながら一生懸命やっておられるので、現場の先生方に理解いただけていないことがあるとしたら、もったいないと感じたところでした。以上です。

○教育長 ありがとうございます。祝辞については、教育委員会のお祝いの言葉という形でさせてもらっています。県立高校では祝辞などが全部なくなっていて、卒業式のしおりにとじ込んであります。おそらくコロナのときからです。私が令和元年に飯野高校の卒業式に出たときは、県教育委員会が来て、祝辞を述べていました。コロナ禍以降はなくなり、県教育委員会の同席もない、そこは少し違和感がありますが、祝辞、教育委員会のお祝いの言葉をしおりに載せるという方法はあることはあります。ただ小中学校は管理者である教育委員会が、しっかりそこで、はなむけの言葉を子どもや保護者に感謝も含めて伝えるということが大事かと思っています。皆さんのご意見は。

○御手洗委員 私も委員が言われる「頑張り」がすごく目立ったし、「頑張り」という言葉に、受け取り方や感じ方もありますので、他の部分も含めて自分で少し変えて読んだのですが、やはりお祝いの言葉の視点というものも大事ではないかと私も思いました。

○貴嶋委員 確かに祝辞の中身に関しては同じように感じました。

○小倉委員 私は逆に、心のこもった分かりやすい内容との感想をいただきました。

○教育長 お祝いの言葉に関しては、学校教育課でも内容を精査していきたいと思います。

○御手洗委員 教育委員会からお祝いの言葉は必要だと思います。

○教育長 福祉部門との連携の件は、教育委員会としても管理職への必要な指導、連携のあり方についてしっかり進めていきたい。先日の校長会でこども課長が新たな「こども家庭センター」の話もしていただきました。家庭相談員の皆さんが各学校にケース会議も含め定期的に面談に行かれていますので、より丁寧に、中身の問題だと思いますので、しっかり考えたいと思います。また、校長会でも話をさせていただきます。

○貴嶋委員 重層的支援は令和7年度からでしたか。

○学校教育課長補佐 今年度から始まっています。

○御手洗委員 社協にコーディネーターの方がいらっしゃるの、その方が学校の方に出向いていただいてもいいのではないかと思います。

○学校教育課長補佐 既にいくつかの家庭は重層的な動きをしているので、福祉的に社協が入って、いろんな形、方向からその家庭をサポートしていこうということで協議して、また入って、共有するという形で伴走的に支援している家庭があります。先生たちの協力や市教委としてもスクールソーシャルワーカーと一緒に社協と動くこともありますし、そこをまた学校に繋いだり、先生の動きも社協に繋いだりということで、より深く広くできてきている充実感がありますが、さらにいろんな方向を模索していかないといけないのではないかと感じてらっしゃいました。

○教育長 学校側が外部の人とやり取りをするときに、個人情報、家庭の環境等について守秘義務なり、そうでない部分などでも情報遮断をしまい、結果、家庭や子供にとってどうなっていくのかということの理解というか、そこは教育委員会の役割でもあると思いますので、しっかりやっていきたいです。

○学校教育課長 DVなどの問題も含めて、もう縦割りの行政では成り立たなくなっており、横の連携を図る中で、どう情報共有して、その対象者に届けるかということが非常に難しいです。そういった意味で今回、母子福祉・母子保健と子育ての一体的な組織になりますし、重層的支援も入りますので、より幅広く横串は通ると思います。あとはその中身ですね。

○教育長 しっかり連携していかないといけないですね。安否確認なども学校の先生が家に行っても、本人と確認ができない。そういうときに、こども宅食、学校で子供に宅食で社協の方が届ける際に、子どもに会って声かけをしてもらい、教育委員会や学校と共有するできれば、安否確認をしつつだと思いますので、そういうネットワークとか、しっかり作っていくことが大事なかなと思いますので、しっかりやっていきたいと思います。ありがとうございます。

他に教育委員さんからなければ、私からお願いしたいと思います。

(リーフレットを示し) 正式にでき上がったものはお渡ししますが、今年度の学校教育に関する取組等を整理されたものになります。例年、教育委員さんの皆さんにもご確認いただいておりますが、今後、機会あるたびにこのことを踏まえて、校長会や先生方にはお伝えをさせていただきたいと思います。

○貴嶋委員 大きく変わっているところはありますか。

○教育長 今年度新たな事業として入ってきたもの、例えば飯野高校支援事業で国内国外への留学・研修への支援、またキャリア教育支援センターのことや図書館支援員・図書館教育のことを入れさせていただいております。校長会でも説明をして、学校側もしっかりこのことを踏まえた教育を進めてくれると思っています。リーフレットも、表現の仕方を変えたり教育政策に合わせた形でまとめたりしております。

もう一点、今年度の市内の小学1年生の入学者数について、昨年度は98名でしたが、今年度は105名ということになっております。105名ということで、飯野小学校が52名、今年が38か39だったので、少し

増えています。上江小が4名、来年度からこの4名と係る学年は全部複式になります。加久藤小が27名、今年が19でしたので増えています。真幸小が22名、減っております。上江が今後は大体1桁がずっと続くというような状況です。

○貴嶋委員 この場合、1年生から複式になるのですか。

○教育長 1年生は複式にはならず2年生からなります。4名となると、ずっとこの学年は複式になります。今年、上江小学校の4・5年生が全部で16名になり、本来なら16名から複式なんですが、配置職員のやりくりで、今回、単式で構成できました。だけど来年度は今回の措置を適用しても6年5年は単式でも、2・3年生が複式になります。

以上で報告、提案事項等は終わりたいと思います。それでは議事に入りたいと思います。

○教育長 報告第1号えびの市教育委員会事務局組織規則の一部改正についてを議事といたします。事務局より説明をお願いいたします。社会教育課お願いします。

○社会教育課長 えびの市教育委員会事務局組織規則の一部改正についてでございます。教育委員会事務局職員における新たな職、副主幹を設置するに当たりまして、教育委員会事務局組織規則の一部を改正する必要が生じたので、えびの市教育長に対する事務委任規則第3条の規定に基づきまして、臨時に代理をしましたので、同規則第5条第3号の規定に基づきまして、教育委員会に報告するものでございます。

○教育長 ありがとうございます。この報告第1号に関して何かご質問等ございませんか。

○御手洗委員 具体的には、どなたが副主幹になるのですか。

○社会教育課長 水道課からの異動職員が副主幹でまいります。

○御手洗委員 何係になるのでしょうか。

○社会教育課長補佐 今は市民体育係ですが、今後、5月1日を目途に国スポ準備室を設置する予定になっておりますので、今は副主幹なんですけども、室長という形になる予定で進めております。

○教育長 ありがとうございます。ご質問等ございませんか。それではご質問がなければ、この内容について承認してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

ありがとうございます。報告第1号、えびの市教育委員会事務局組織規則の一部改正については承認されました。

本日の議事については以上でございます。事務局からの事務連絡をお願いしたいと思います。学校教育課お願いします。

○学校教育課長 令和7年度教職員新任式は15日午後3時からとなっております。また、この前段で第1回教育委員会の臨時会を調整させていただきます。ご案内についてはまた後ほど会場等を調整してご連絡させていただきます。

また、臨時会とは別で、第2回の定例会につきまして、令和7年の5月になりますが、教育委員さんの学校訪問を計画することになっております。それと合わせて実施する方向で調整させていただきたいと思っています。期日は未定ですが、できるだけ早めに日程を決めてご連絡を差し上げたいと思います。

○教育長 だいたい連休明けか、もう少し月末に近い頃か、昨年度は、5月20日に岡元小、飯野小だったと記憶しています。岡元小に40分、飯野小が1時間ぐらい、学校訪問の後ここに帰ってきて教育委員会をされるようです。訪問校はどこでしょうか。

○学校教育課長 引継ぎでは、令和7年度が飯野中、加久藤中、真幸小、岡元小、令和8年度が飯野小、上江小中、加久藤小、真幸中と聞いております。

○教育長 事務局の方で確認していただいて、定例会と合わせてということで日程調整をお願いします。

○教育長 学校教育課は以上で、社会教育課から何か事務連絡はありますか。

○社会教育課長 宮崎国際音楽祭のえびの市でのサテライトコンサートについて、まだチケットがかなり残っています。今後、宣伝等も行っていくので、よろしくお願いします。

○教育長 社会教育課は以上。それでは、前回の教育委員会でお尋ねのあった市内中学生の進路状況について、報告させていただきます。

○学校教育課指導主事 では失礼します。既に県に報告している内容ですが、まず卒業者の総数が155名です。そのうち、県内の高等学校まず全日制です。県立に109名、私立に25名進学しております。そして県内の高等学校ですが、通信制の高校に1名進学しています。続いて、県外の高等学校、全日制に9名、通信制に3名進学しています。続いて、高等専門学校に4名進学しております。

つまり高等学校、それから高等専門学校への進学者の合計が151名となっております。就職進学者が県内で1名、次に特別支援学校に2名、最後に無職、進学就職をしていない卒業生が1名おりました。合計で155名、以上です。

○貴嶋委員 その無職の生徒はどうされていますか。

○学校教育課指導主事 無職の生徒については、不登校のお子さんと、ひきこもりの方です。

○教育長 中学校3年間で入学式だけの出席、式自体には出てないのですが、おそらくその日以外は欠席だったと思います。ですから今後の本人へのサポートについて、大変懸念しており、福祉分野としっかり繋

いではないといけません。

○学校教育課指導主事 重層的支援の中で、昨年度から既に、試行的に会議に入ってます。社会福祉協議会の担当を中心に、また、母親についても繋がりは今のところあるということと、お子さんについては、同級生が時々遊びに、おうちの方に来ているということです。まずは、お母さんが通われているところに、卒業した無職のお子さんも繋いでいきたいと思いますということで動いているところのようです。

○教育長 ほか、何かないでしょうか。飯野高校は進学が49名、えびのからでした。最近3割を超えるのではないかと期待していましたが、今回意外と少ないようです。155名中49名ですから3割に届いていないです。全体的な総数としては飯野高校への進学は増えているのですが、えびのの子どもたちは、飯野高校に実際3割未満で、西諸や他の地域から飯野高校に来てくれているという現状がございます。来年度、20名ほど3年生は減りますので、飯野高校への進学がどうか気になっているところです。

飯野高校は、今度、学科改編で「普通科」から「みらい探究科」ということで公表しました。7月には高校入試の募集要項が全体的に示されて、今度の中3の子どもたちが対象になっていきます。そこで「みらい探究科」ということで、また新たに子どもたちが関心を寄せれば、応募増にも繋がるものと思っております。昨年度までは、募集等に関しても指導主事が一生懸命取り組んでいましたが、その指導主事が1人いません、減になっていますので、今年度については、新たに会計年度任用職員のほうでやっていただくことになろうかと思えます。

○御手洗委員 県外からは何名くらい入学されているのでしょうか。

○教育長 県外が3名だったと思います。全国卒の生徒に関しては。

○御手洗委員 県内の市外が多いということですか。

○教育長 そうだったと思います。気になるのが、全国的に、このみらい留学についてエントリーしている学校がかなり増えてきて、ある意味取り合いになっています。選べる学校が増えてきており、飯野高校も選ばれる学校になっていかないと厳しい状況です。みらい探究科というその名称のアナウンスを含めて、情報や魅力の発信をしっかりしていかないといけないと考えています。

○学校教育課長 逆に市内とか、県内の状況で考えると、普通科という学科がなくなったというふうに捉えられないか、その理解をしてもらうことの心配もあるようです。

○教育長 そのことを飯野高校の校長先生が心配されていました。どこも「普通科と何とか探究コース」となっていますので、そこを心配されてます。保護者とか子どもたちへの理解をどうしていくかということが課題かもしれません。

あと西諸の関係では、小林高校や小林秀峰も結構減っている状況があります。西諸に人が集まるような学校の魅力化が図られればいいのですが、なかなか厳しい現状がございます。

他にないでしょうか。

それでは以上をもちまして市教育委員会令和7年度第1回の定例会を閉会いたします。皆さん、お疲れ様でした。ありがとうございます。

閉会 午前10時5分

えびの市教育委員会 令和7年度 第1回 定例会の会議内容に相違ないことを証明する。

令和 年 月 日

.....教 育 長.....

.....教 育 委 員.....